#### 2024 年度 長岡大学シラバス

授業科目名科目コード	グローバルスタディ(台湾) (Global Study)(TAIWAN) 2413-0-53-045				担当教員	村越 真紀 (ムラコシ マキ )			
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位数	2	配当年次	1-4 年次	開講期	集中
科目特性	協同学修型 AL								

### ① 授業のねらい・概要

夏季休業期間中、約1週間程度の台湾現地研修がある。交流協定校での語学研修、台湾文化体験を含むアクティビティ、台湾の学生との交流、現地での生活を通じ、世界の多様性の一端を体感するとともに、自らの成長につなげることを目的とする。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

コミュニケーション能力/情報収集・分析力

#### ③ 授業の進め方・指示事項

事前学習では台湾の概要、生活上の注意などを学び、研修目標を決める。現地研修中は、研修の内容を記録する。事後学習では、研修の成果を発表する。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

#### ⑤ テキスト (教科書)

テキストは使用しない。

#### ⑥ 参考図書·指定図書

赤松美和子・若松大祐 編著『台湾を知るための72章【第2版】』(明石書店、2022年)、

#### ⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安

- (i) 事前準備(情報収集・事前手続きを含む)と課題設定をした上で、現地研修に参加できた。
- (ii) 現地研修に参加し、学びや気づきを研修日誌に記録できた。
- (iii) 現地研修での成果を、文章と口頭発表によって他者に理解させることができた。

⑧ ルーブリック	ク				
	S	A	В	С	D
評価項目	到達目標を越	到達目標を達	到達目標達成	到達目標達成	到達目標達成
	えたレベルを	成している	にはやや努力	には努力を要	には相当の努
	達成している		を要する	する	力を要する
(i)事前準備	Aの評価に加	事前学習に参	事前学習に参	事前学習に参	現地研修に参
(情報収集・事	え、現地研修で	加し、詳細な現	加し、現地の情	加し、教職員の	加できなかっ
前手続きを含	様々なことに	地情報を収集	報収集、旅券取	支援を得て、現	た。
む)、題設定を	積極的に取り	し、旅券取得等	得等必要な諸	地の情報収集、	
した上で、現地 研修に参加で	組むことがで	必要な諸手続 きを一人で済	手続きをおお むね一人で済	旅券取得等必 要な諸手続き	
研修に参加で きた。	きた。	ませられ、現地	ませられ、現地	を済ませられ、	
C /Co		研修で取り組	研修で取り組	現地研修で取	
		む課題を設定	む課題を設定	別組む課題を	
		した上で、現地	した上で、現地	設定した上で、	
		研修に参加で	研修に参加で	現地研修に参	
		きた。	きた。	加できた。	
(ii)現地研修	Aの基準に加	現地研修に参	現地研修に参	現地研修に参	現地研修に参
に参加し、学び	え、客観的な感	加し、研修日誌	加し、研修日誌	加したが、研修	加できなかっ
や気づきを研	想や考察 (例え	に研修内容、主	に研修内容、主	日誌に研修内	た。
修日誌に記録	ば新たに見つ	観的な感想や	観的な感想が	容しか記録で	
できた。	かった課題な	気づきが、分か	記録できた。	きなかった。	
	ど) も記述でき	りやすい文章			
	ていた。	で詳細に記録できた。			
(iii)現地研修	Aの基準に加	研修日誌に基	研修日誌に基	研修日誌に基	現地研修に参
での成果を、文	え、今後の課題	づいて、現地研	づいて、研修内	づいて、研修内	加できず、レポ
章と口頭発表	に対する具体	修の内容、課題	容、課題への取	容、課題への取	ートが書けな
によって他者	的なアクショ	への取り組み	り組み方、学	り組み方、学	かった。
に理解させる	ンプランまで	方、学び、気づ	び、気づきを文	び、気づきを教	
ことができた。	も記述されて	き、今後の課題	章化し、それを	員の支援を得	
	おり、さらなる	を他者が理解	もとに発表資	ながら文章化	
		できるように			
		文章化し、それ			
		をもとに発表	た。	作成して口頭	
	もに、発表会に	資料を作成して口頭発表で		発表できた。	
	おいて審査員からも高い評	て口頭発表で き、質疑にも適			
	価を得られた。	切に応答でき			
	一面ではられいて。	- 男に心合 C C - た。			
		. — 0			

<ul><li>⑨ 学習到達目標(評価項目)</li></ul>	定期試験 (レポー ト含む)	小テス ト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			45%	40%	15%		100%
(i)事前準備(情報収集・ 事前手続きを含む)と課題 設定をした上で、現地研修 に参加できた。			5%	5%	5%		15%
(ii) 現地研修に参加し、 学びや気づきを研修日誌 に記録できた。			30%	5%	5%		40%
(iii) 現地研修での成果 を、文章と口頭発表によっ て他者に理解させること ができた。			10%	30%	5%		45%
フィードバックの方法 提出物にはコメントを添えて返却する。							

## ⑩ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)

現地では安全面に配慮しつつ様々なことにチャレンジし、台湾の人々との交流を楽しんでください。 積極的に活動することを期待します。

11)	授業計画と学習課題		
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間(分) (※特別な持参物)	
1	オリエンテーション、研修地紹介、 渡航準備説明	為替レートを調べて置く。 台湾(台南)についての情報を集めてお く。	180 分
2	現地研修での目標設定、情報収集	台湾への渡航に必要なものを調べ、準 備しておく。	180 分
3	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。	180 分
4	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。	180 分
5	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。	180 分
6	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。	180 分

7	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。	180分
8	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。	180分
9	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。	180分
10	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。	180分
11	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。	180分
12	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。	180 分
13	修了レポートの作成 執筆指導 (個別対応)	研修日誌等を参考に、修了レポートを 作成する。	180 分
14	成果発表会用資料の作成 資料の作成指導、発表指導 発表会のリハーサル	修了レポートを基に、成果発表用の資料を作成し、発表の準備をする。	180 分
15	成果発表	修了レポートを基に、成果発表用の資料を作成し、発表の準備をする。	180 分

# ② アクティブラーニングについて

協同学修型 AL

## ※以下は該当者のみ記載する。

<u>※以下</u>	は該当者のみ記載する。			
13 3	実務経験のある教員による授業科目			
実務経	実務経験の概要			
実務終				